

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけと二俣川駅前教室		
公表日	令和8年	3月	14日
利用児童数	令和8年	3月	14日
	回収数 12		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12				とてもよく見て下さり、細かな成長が感じられます。	引き続き、たくさんの成長に繋がられるように取り組んでまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1				
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	7	2	1	2		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	1	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12				フィードバックの内容が、アプリで確認できることが殆どだと感じます。 フィードバックを時間が場所をずらして個別にしたい点からも嬉しいです。	専門性のある申し送りに繋げるため、研修を実施していきます。次の準備や職員の配置、お迎えの際の交通状況にもありますが、個人情報の配慮の点からも検討させていただきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10				2	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。		4	2	6		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	3				
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12						
非常 時等 の 対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		1		
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	10	2			本人が話せないで親の肌感にはなりませんが、担当して下さる先生が毎度違うのが少し不安に思うのかなと思います。	ご意見ありがとうございます。事業その方針として汎用化に繋がりたいと考えております。少しでも安心いただけるよう職員間でお客様の情報共有を密に図ってまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3			いつも楽しみに通所しています。	引き続きお子様が安心して安全に楽しく過ごせる教室作りに励んでまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	12				不安や疑問に大変丁寧に対応頂いています。いつも寄り添ってどうしたら良いのかと一緒に考えていただいているおかげで子供だけではなく親の私も本当に心強いです。こちらの事業所を選んで本当に良かったと思っています。	お子さま、保護者様と伴走し安心してご相談などいただける場になるよう努めてまいります。

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名		てらびあぼけっと二俣川駅前教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		一対一以上の職員配置になるようにしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	部屋ごとに名前があり、その部屋に対応する絵カードを用いている。	排煙口のボタン付近を触る児童がいるのでカバーするなど工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		天井が高く閉塞感がない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		個室にて療育を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		日常的に児童・支援の振り返りの機会が多く、自ずと業務や自身の目標が意識される	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		同時に実施している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼、秀丽など職員が揃う時に打ち合わせを行なっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		現状第三者評価は予定していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		年2回の集合研修を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		定義公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		アセスメント・モニタリングに基づいて計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		複数職員が参画している	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共有し、療育前に再確認を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		適宜確認している	
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		適宜設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		825段階のプログラムに基づき策定している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		825段階のプログラムに基づき策定している	
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別を中心に、集団活動も実施している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		実施している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		実施している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		実施している	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	要望に応じて実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		4		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4		参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	2	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		児童のお迎え時などに情報共有を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		実施している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		実施している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		実施している	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		実施している	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Webベースの連絡ツールによる情報共有と、インスタグラムでの情報発信を行っている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		十分留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		言葉や文字以外に、絵カードを使用するなどの配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルは、送迎の保護者がいつでも見ることができるよう設置している	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	2	2	基本的に食物を取り扱わない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		支援を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		年2回の研修/勉強会のほか、防犯カメラの設置など取り組んでいる	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		実施している		

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぼけつと二俣川駅前教室			
○保護者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和8年2月18日		～	令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 14日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンなので一人一人のお子様に合わせた療育を提供できる。	汎化を目指してたくさんの職員との関りの機会を増やし、多角的な視点で情報共有を行っている。	てらびあぼけつと本部の研修などに参加し、専門性を高めていく。
2	てらびあぼけつと本部の研修が充実している	てらびあぼけつと本部で受けた研修を日々のセラピーに活かし、職員間で情報共有を行い同じ方向で取り組めるように意識を高めている。	行動分析学に基づいたABC分析を意識して療育に努める
3			
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流などの機会が少ない	外出する機会などが作れない。開所して間もないこともあり、地域のことをあまり把握していない。	地域との交流の場を作っていく
2	父母会、保護者会がまだ開催されていない	感染症流行時期だったこともあり、取り組めていない。	時期を見て保護者会など保護者様のニーズに合った内容で開催を考えていきたい。
3			